



2022年6月号

FUNs通信

就労移行支援事業所FUNs

第20号

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台2-11-6 淵野辺サトウビル2階
Tel:042-813-0809 Fax:042-813-3231 Email: info@funs2020.co.jp

卒業？新たな出発？

3月4月は歓送迎の季節ですね。

当事業所は今年の4月1日で3年目に突入しました。この2年間で当事業所から就労された利用者さんは6人。3年目に入り、現在まで就労が決まっている利用者さんも含めると全部で11人になります！

「就労」は利用者さん全員が目指している目標ですし、当事業所も同じ目標に向けてお一人お一人に寄り添っていますので、とても嬉しい限りです！

でも・・・でも・・・たとえ数カ月でも、たとえ2年間でも、一緒の時間を過ごした方が卒業されていくのはとてもとても寂しいです。が、卒業されても、月1回のFUNsフェスには顔を出していただける利用者さんも多く、それもFUNsの1つの魅力であると思っています。

私の友人から先日、「メイク関連の法人を立ち上げたい」という相談が来て、現在、法人創業に向けて支援しているところです。この友人も4月を期に、いままでの生活環境から卒業し、新たな出発を決意したようです。

今の環境に変化を与えることは、刺激にもなりますが、同時に不安にもなります。

よく考えて行動しなければなりません、その想い自体を大切にしましょう。考えることは、自分を成長させることに直接つながります！そして、考えた時間は将来、決して無駄にはなりません！！（及川）

6月のスケジュール

6月 行事予定

- 15日 FUNs FES
- 22日 ものづくり体験会

ジョブコーチ始めます。

FUNsの定着支援が始まってもうすぐ2ヶ月。定着支援とは、FUNsを卒業し、就労した企業でご利用様が安定して働く為の支援になります。

FUNsでもご利用様が安心して自身の持ち味を生かして生き生きと働いて頂くお手伝いをさせて頂いております。その支援の一つとしてジョブコーチがあります。就労という縁があって一緒に働く仲間となったのですから、気持ちよく働いてもらいたいと企業様も思っています。ですが、実際に働いてみると「どうしたらいいのだろう？」と感じる事って意外と多いと思います。それは企業様も同じだったりします。利用者様と企業様の「こういう時どうしたらいいんだろう？」の解決のお手伝いさせて頂くのがジョブコーチです。

ご利用様・企業様の聞き取りをしっかりと行い、お互いに気持ちよく働けるためにはどうしたらいいの？のお手伝いをさせて頂ければと思っています。（金崎）



編集後記

先月に引き続き5月に1名の就職者が出ました！本当におめでとうございます！一生懸命、努力をされたご利用様で、努力がしっかり報われたなと非常にうれしく思っています。そして6月1日付で2名の内定も決まっています。4月に入ってから5名の就職が決まりました。ご利用者様にとって本当にいい波が来ています（紙谷）

FUNsはあなたを待っています！！

FUNsの入り口がより分かりやすくなるように、イーゼルを設置しました。

おいくらだと思いませんか？？

これは、設計から製作まですべてオリジナルのイーゼルです。カットから色塗り、防腐剤塗り、電気ドリル使用まですべてFUNsのプログラムで行いました。

こだわった点としては、ハッ！と目を引くようなカフェ仕様のイーゼル作り。そして色合いと形です。

完成図を基に、どう組み立てられるかをご利用者様同士で打ち合わせをして制作をされていました。

普段レジンや編み物など細かい作業が多いFUNsのものづくりのプログラムとは異なり、こういった木作業は大きなものも作れるため、よりチームワークが求められるものです。完成時の達成感を味わうにはもってこいです！！次はどんな木工をするか計画中です。

値段はプライスレスですね！！（井川）



利用者リレーコラム～就職の為に～

私は心身ともに疲弊し、精神障害者と知らされ、2020年春に会社を辞めました。自分の道を失いました。

そんな時に精神科の先生から就労移行支援事業所の存在を教えてください、FUNsはそのうちの一つでした。

FUNsは他の事業所と全く違い、個々の意思を尊重する「枠にとらわれない事業所」でした。FUNsでスタッフや他の利用者とは会話する中で心は穏やかになり、合わせて徐々に生活リズムが改善されていきました。一番大きかったのは、自分にとって人と会うことがとても大切なんだと気付かされたことです。

以前は、部屋に塞ぎ込んで日が暮れるのをじっと待ち、夜中に悲観的な検索をしては映画やゲームに逃げ、また朝日が昇れば早く日が暮れるのを願って寝ました。

それは自分が望む日常ではありませんでした。望む日常のために

まずは通所。それから1日でも多く通所して滞在時間も長くしていく。心と身体のリズムを取り戻せたら自分の行きたい道を前向きに模索する。これを心掛けることがスタートです。通所する「心身」を作ることが大事だと思います。

不平不満を散々言いましたが(笑)、スタッフは我慢強くサポートしてくれました。（ペンネーム てっちゃん）

Fuchinobe Unique Navigations Info

趣味だってプログラムになるんです！

新型コロナの蔓延防止も解除されたのでFUNsでも課外プログラムを始めました！

プログラム名はその名も「ウォーキング」です。週に一回、淵野辺公園までを午前中に往復で約5キロ（約60分）を歩きます。元々は私が個人的に趣味でやっていたものをプログラム化したわけですが、ご利用者様にもすっかり人気になり、かなりの人数の参加者がいるので嬉しい限りです。

ご利用者の皆様もお喋りをしながら息が上がらない程度のペースで歩いています。

普段、自分だけだとなかなか踏み出せない事でも、「プログラム」としてならきっかけになり得ます。「やってみて疲れたけど、意外と良かった」などと言った声も聞こえてきます。

ウォーキングの効果として、体力づくりはもちろん、幸せホルモンである「セロトニン」を分泌して精神的な安らぎも得られればと思っています。

これから梅雨のシーズンとなりますが、天気の良い日には続けて実施していきたいと思っています。（須永）

町田の丘特別支援学校様を見学しました。

私は先日、町田の丘特別支援学校様に訪問させていただきました。

進路指導の先生にあたたかくご対応していただいた後、授業風景や校内の見学をさせていただきました。隅々までお手入れが行き届いてとてもきれいに整備された校内です。気持ちのいい学生生活が送れそう！と考えていたところで、2年生と3年生の授業をされている教室の見学へ。突然お邪魔させていただいたのにもかかわらず、「おはようございます！」と生徒の皆様から元気な挨拶でお出迎えしていただきました。

私が見学させていただいた授業

では刺し子をする時間でしたが、皆様とても集中して授業を受けられていて真剣なまなざしが素敵だと感じました。また、職員様と生徒様のコミュニケーションがとても明るく活発で、風通しの良さも感じました。FUNsとしても、町田の丘特別支援学校様の良い部分を見習い、より良い事業所を目指していきます。（山岸）

お食事会の報告

ご利用者様に立案してもらったカフェ外食に誘われて、矢部近くのスペイン風カフェに行ってきました。普段からいろんな事を話していますが、非日常の力が出たのか普段しないような話まで出来ました。おいしかったし話は弾むし。またこういう企画につなげたいです（田中）